

**令和5年度  
地産地消に関するアンケート結果**

**2024年（令和6年）3月  
藤沢市**

# 1 令和5年度地産地消に関するアンケート調査結果

## 1 調査概要

### (1) 実施目的

本アンケートの目的は、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や関心、消費者の購買動向などについて調査し、今後の施策や事業の検討の参考とする。

### (2) 実施方法

郵送アンケート調査

### (3) 調査設計

- (1) 調査地域 市内
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上90歳未満の男女
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 回答方法 郵送回答もしくはWEB回答
- (6) 期間 2023年11月1日(水)発送/11月30日(木)締切

### (4) 回答状況

- 1,302人から回答(回答率43.4%)  
うち、郵送 926件 WEB 376件

### (5) 対象者内訳

次の年代別対象者数を前提とした地区別人口比に応じて抽出

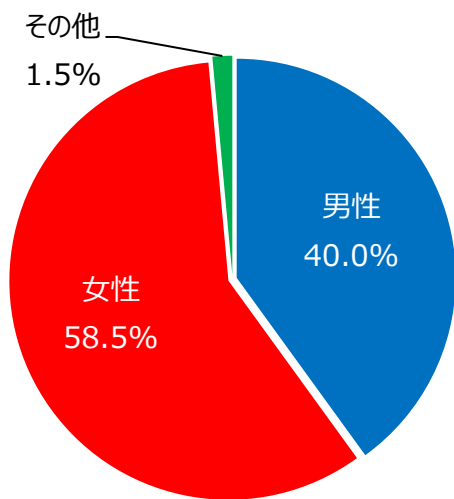
年代	対象者数(人)	年代	対象者数(人)
18歳・19歳	375	50歳代	375
20歳代	375	60歳代	375
30歳代	375	70歳代	375
40歳代	375	80歳代	375
		合計	3,000

### (6) 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフに使われる「n」は各設問に対する有効回答者数、「k」は有効回答件数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。

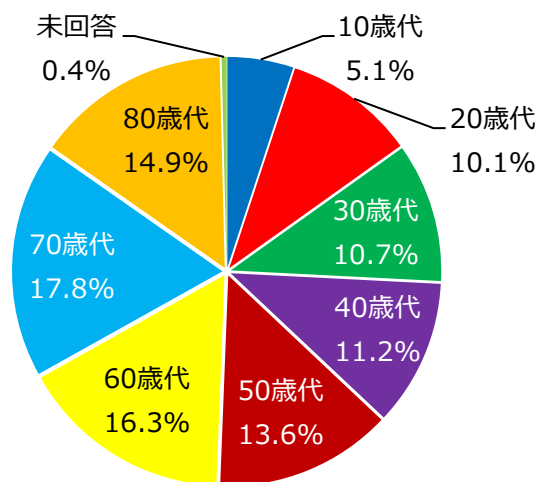
## 2 集計結果

### (1) 性別をお答えください。



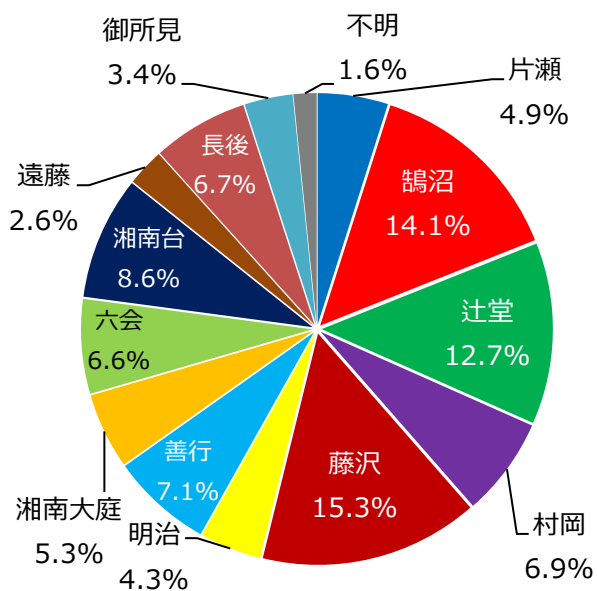
n = 1,302

### (2) 年代をお答えください。



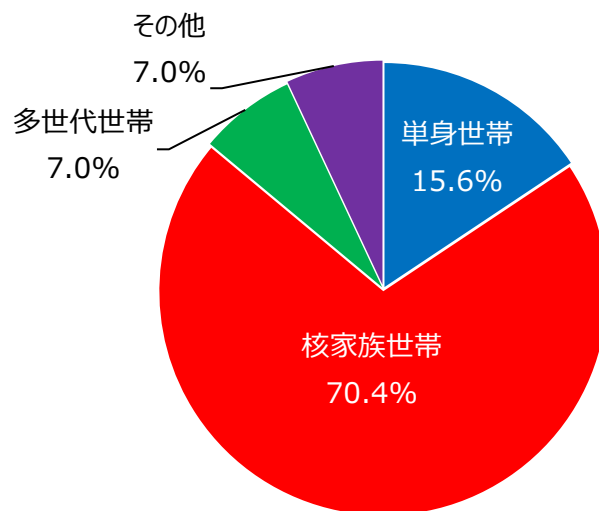
n = 1,302

### (3) お住まいの地区をお答えください。



n = 1,302

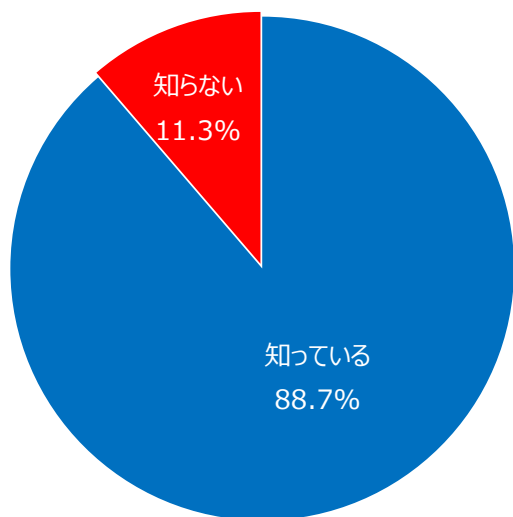
### (4) 世帯構成をお答えください。



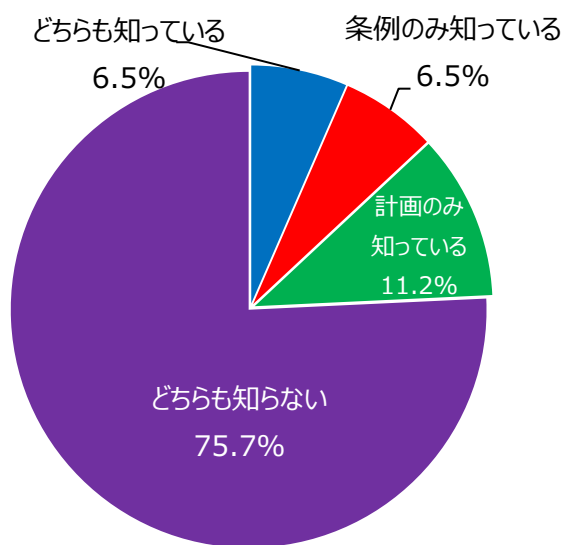
n = 1,291

(5) 「地産地消」という言葉をご存じですか。

(6) 藤沢市の地産地消に関する  
条例・計画をご存じですか。



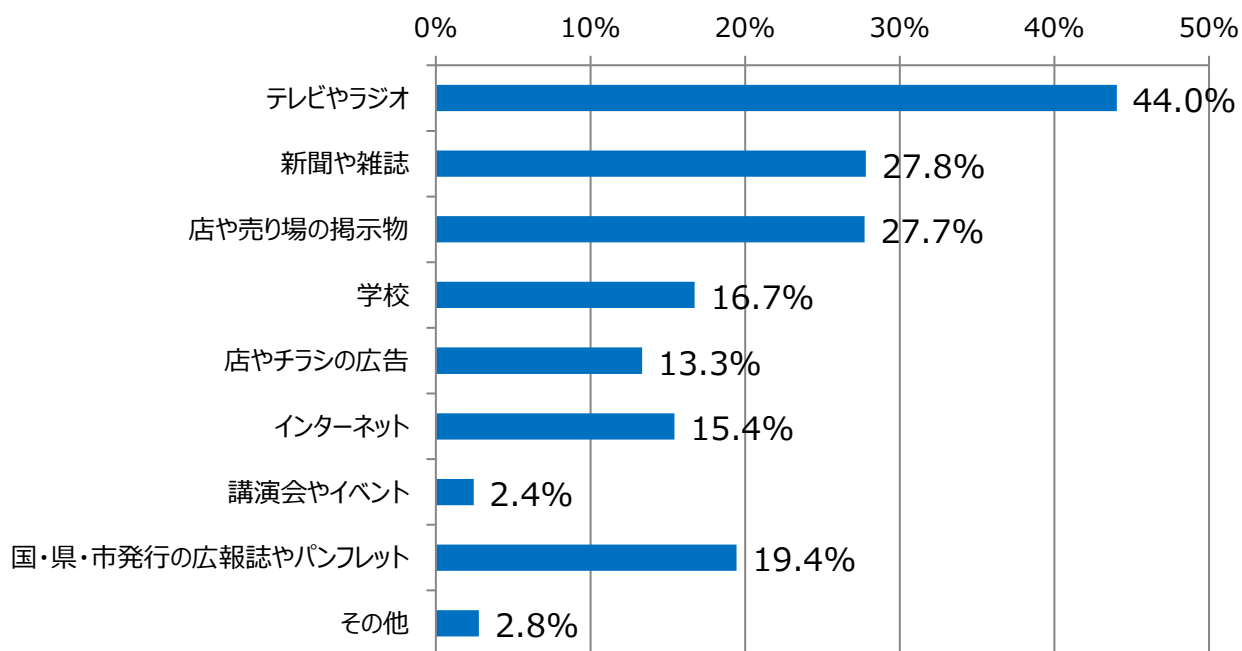
n = 1,293



n = 1,134

(7) 「地産地消」について何からお知りになりましたか。

( (5) で知っていると回答した方 ) ( 複数回答可 )



n = 949

k = 1,947

※主なその他の回答

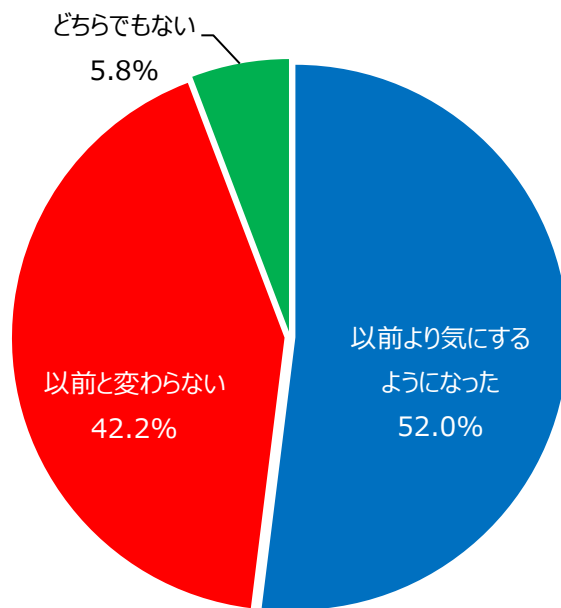
・ECO 検定

・職場

・JA の広報誌

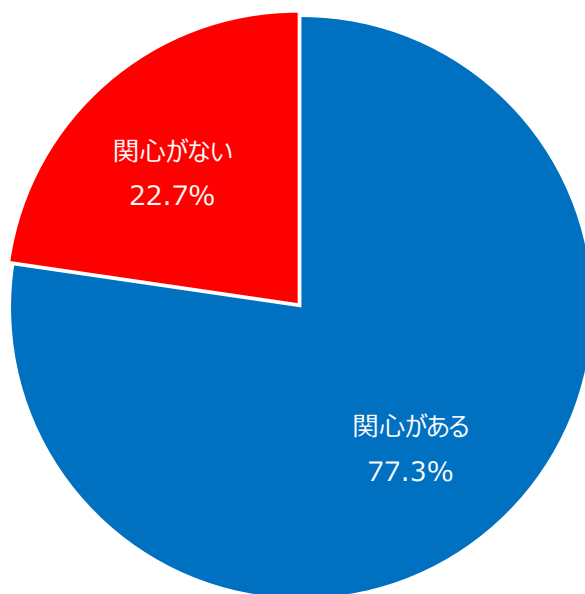
・知人との会話

(8) 住んでいるまちの農水産物を意識するようになりましたか。  
( (5) で知っているとお答えした方 )



n = 987

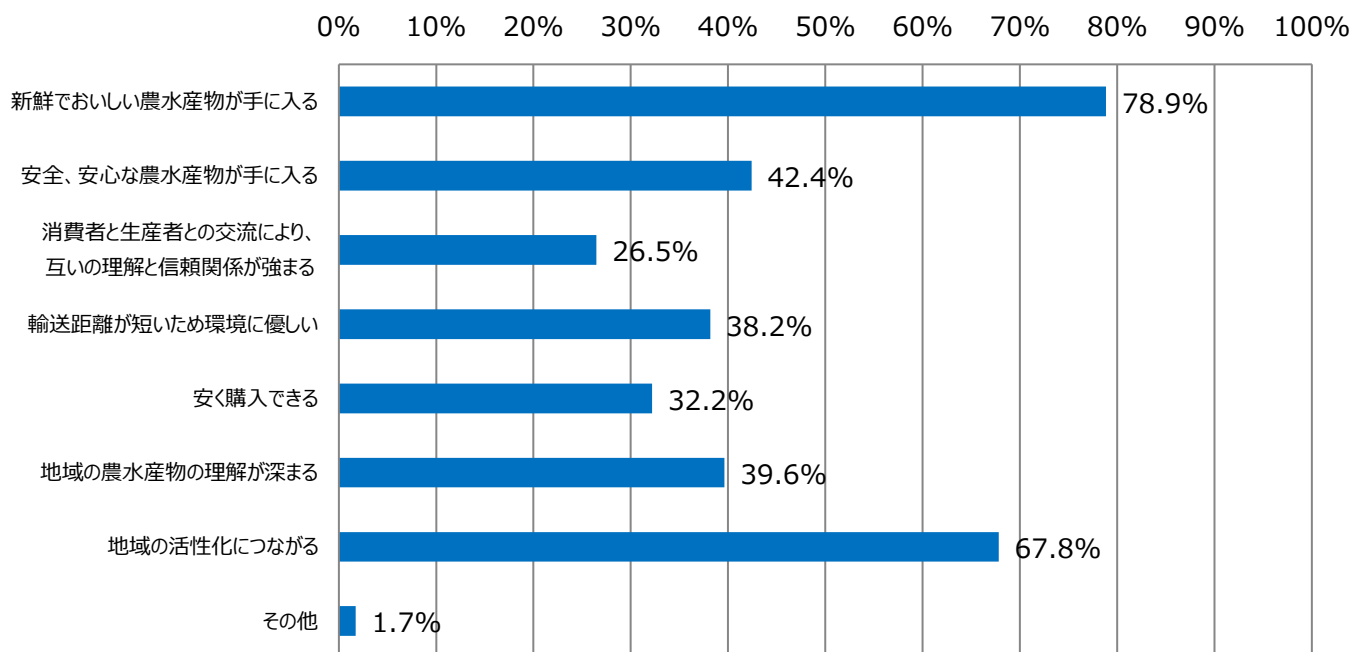
(9) 普段から「地産地消」に関心がありますか。  
( (5) で知っているとお答えした方 )



n = 974

(10) 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。

( (9) で関心があると回答した方 ) (複数回答可)

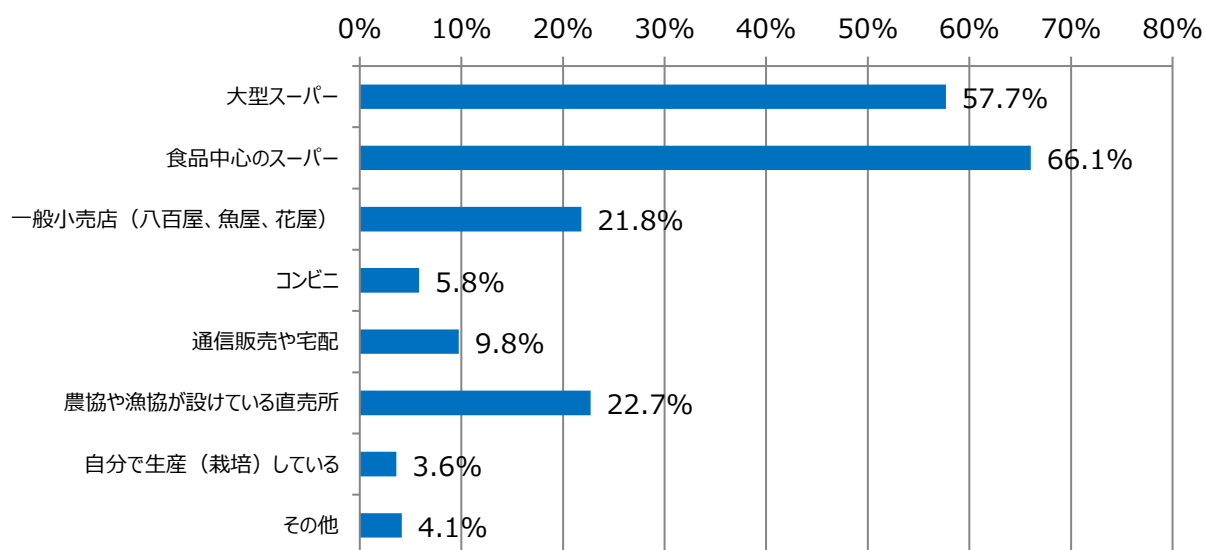


n = 703 k=2,461

※主なその他の回答

- ・商品が新鮮な気がする。
- ・輸入に頼らず、国益を保持できる。
- ・食育にも繋がる。
- ・地元意識
- ・親近感、安心感
- ・地域の魅力を再認識できる。
- ・地域の生産者の助けになると考えている。
- ・農家（地元）のやる気

**(11) 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)**

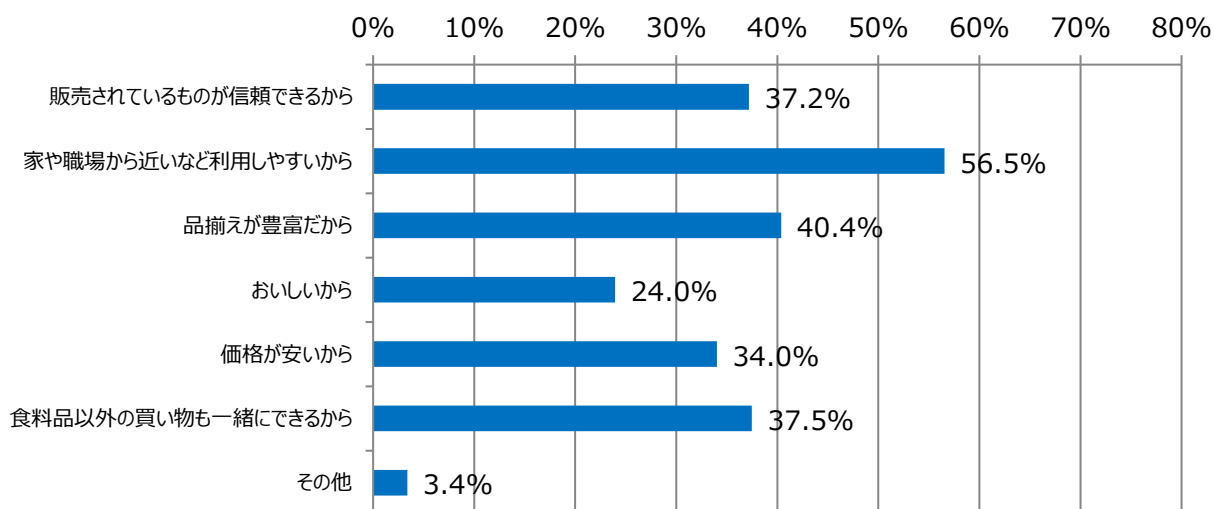


n = 1,261 k = 2,495

※主なその他の回答

- ・知人や家族
- ・百貨店
- ・農家の無人販売や直売所
- ・市役所の直売所

**(12) (11)で農水産物を入手されている理由は何ですか。(複数回答可)**

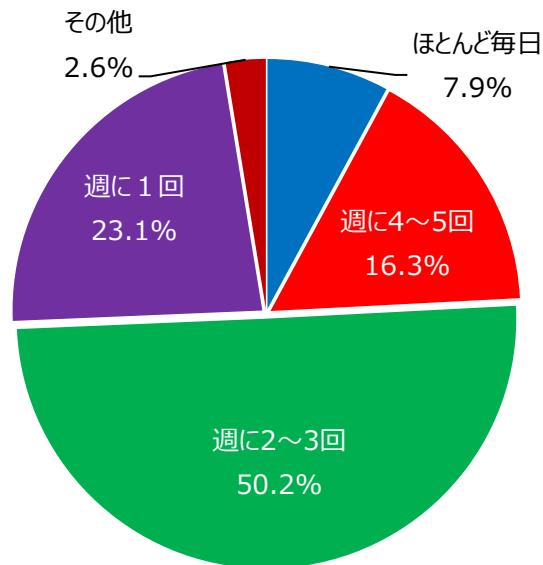


n = 1,257 k = 3,033

※主なその他の回答

- ・新鮮だから。(同様の回答複数あり)
- ・ポイントがつくから。(同様の回答複数あり)
- ・無農薬だから。
- ・地域貢献、地産地消
- ・駐車場が広いから。
- ・選択肢が多く比較できるから。
- ・季節の野菜が手に入るから。
- ・珍しい農産物に出会えるから。(同様の回答複数あり)
- ・地元の産物のコーナーがあるから。(同様の回答複数あり)
- ・宅配は使いきれの量を届けてくれるため。
- ・国産素材中心の安心食材食品添加物や農薬使用に厳しいから。
- ・生産者の名前などが記載されているので信頼できるから。

(13) 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。



n = 1,278

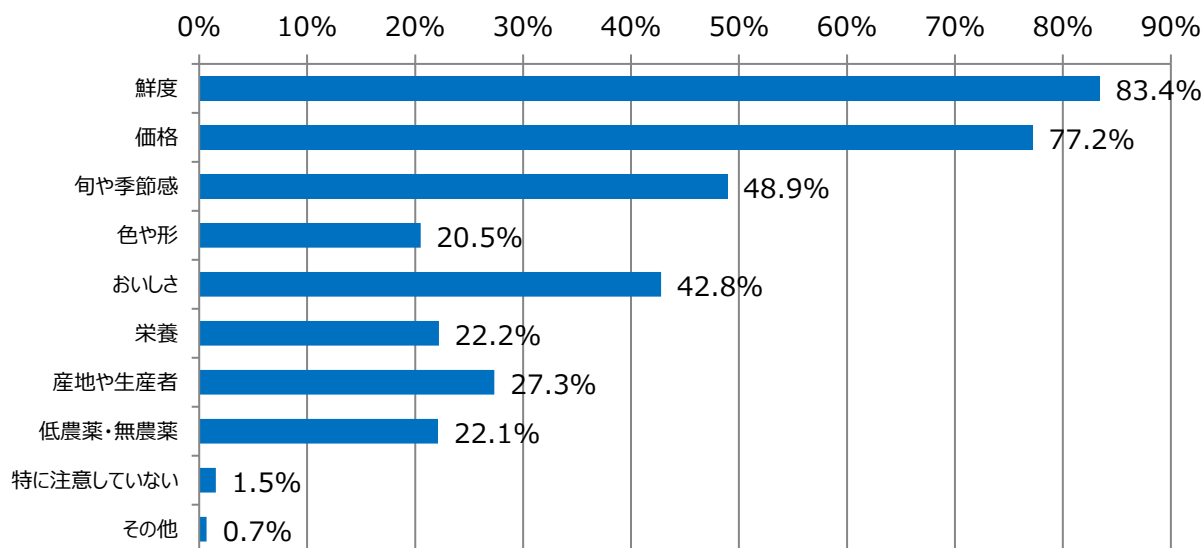
※主なその他の回答

- ・月に1回
- ・2週間に1回
- ・自分では購入しない



**(14) 購入する農水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。**

**(複数回答可)**



n = 1,279 k = 4,514

※主なその他の回答

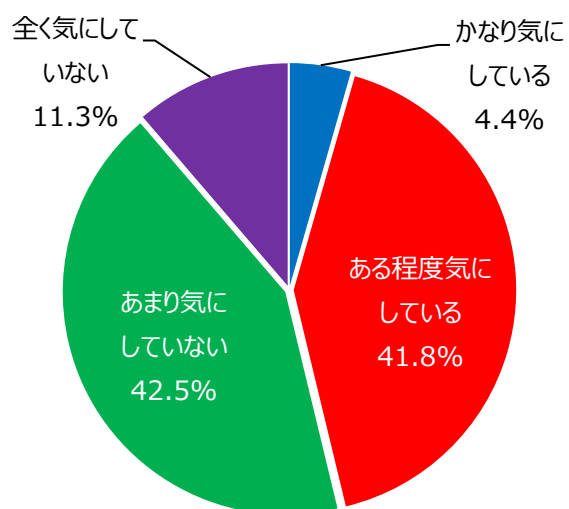
・国産であること。

・環境に配慮しているパッケージかどうか。

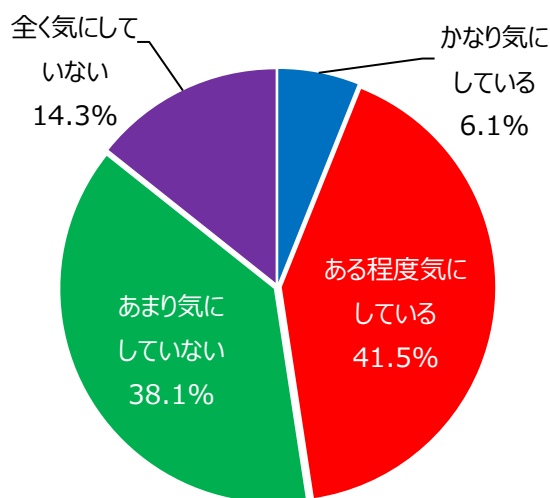
**(15) 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。**

①ブランドとして有名な産地のものであること。

②藤沢産のものであること。



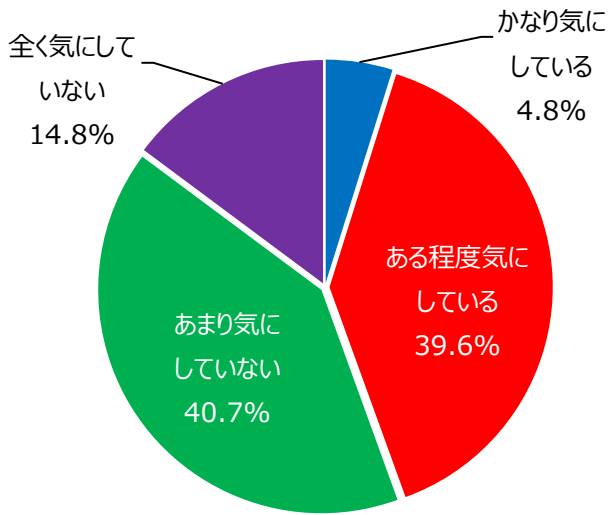
n = 1,285



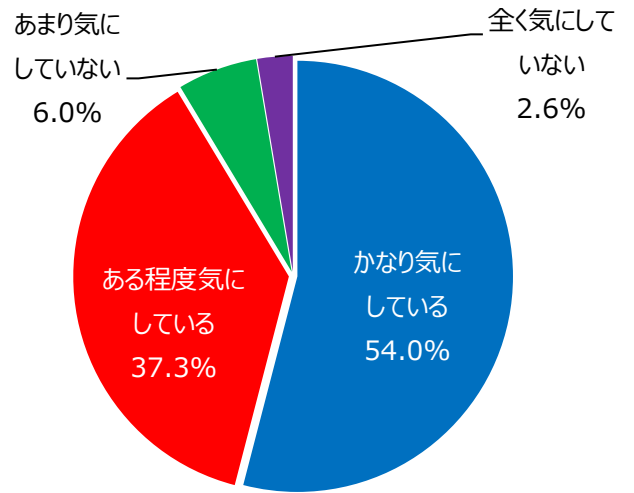
n = 1,286

③ 県内産のものであること。

④ 国産のものであること。

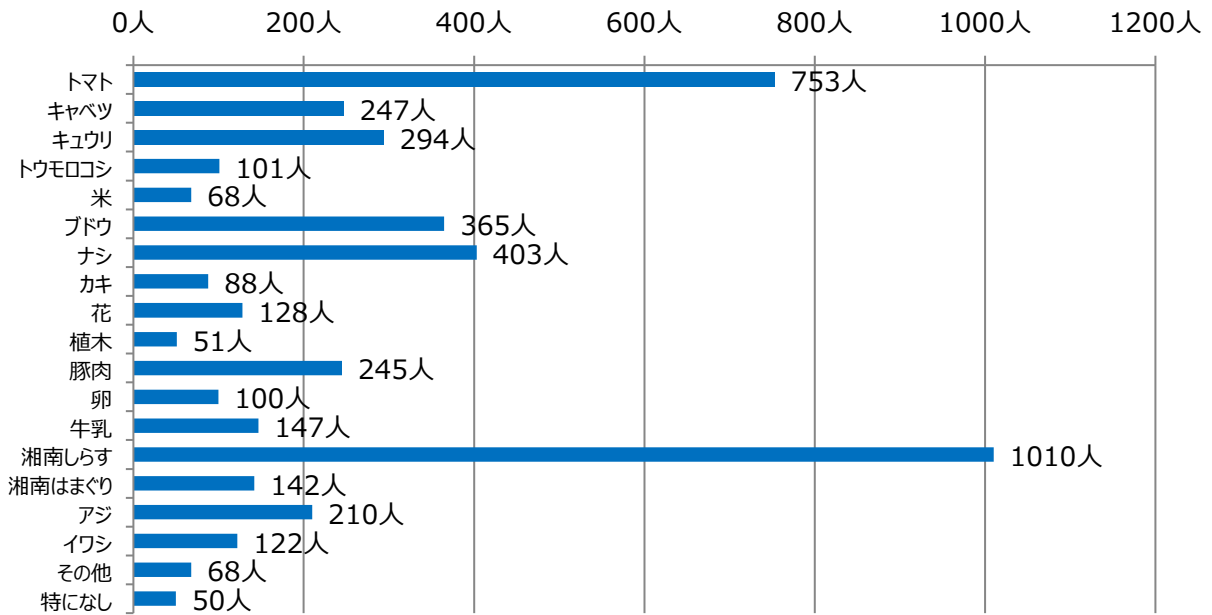


n = 1,282



n = 1,286

(16) 藤沢産の農水産物といえば、何を連想しますか。(複数回答可)

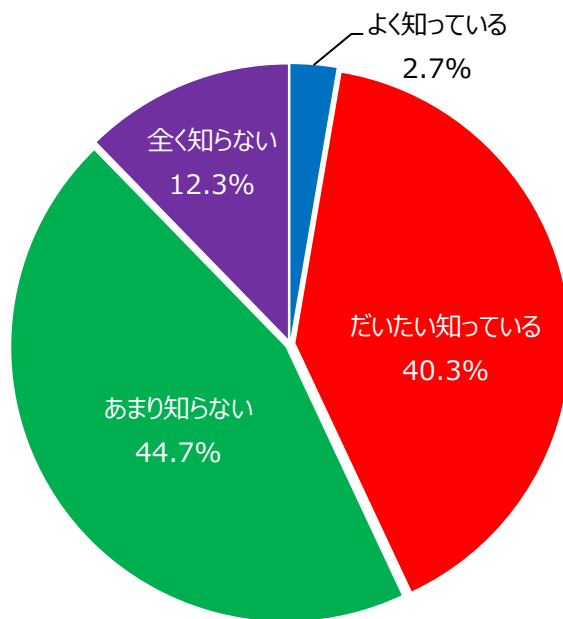


n = 1,277 k = 4,592

※主なその他の回答

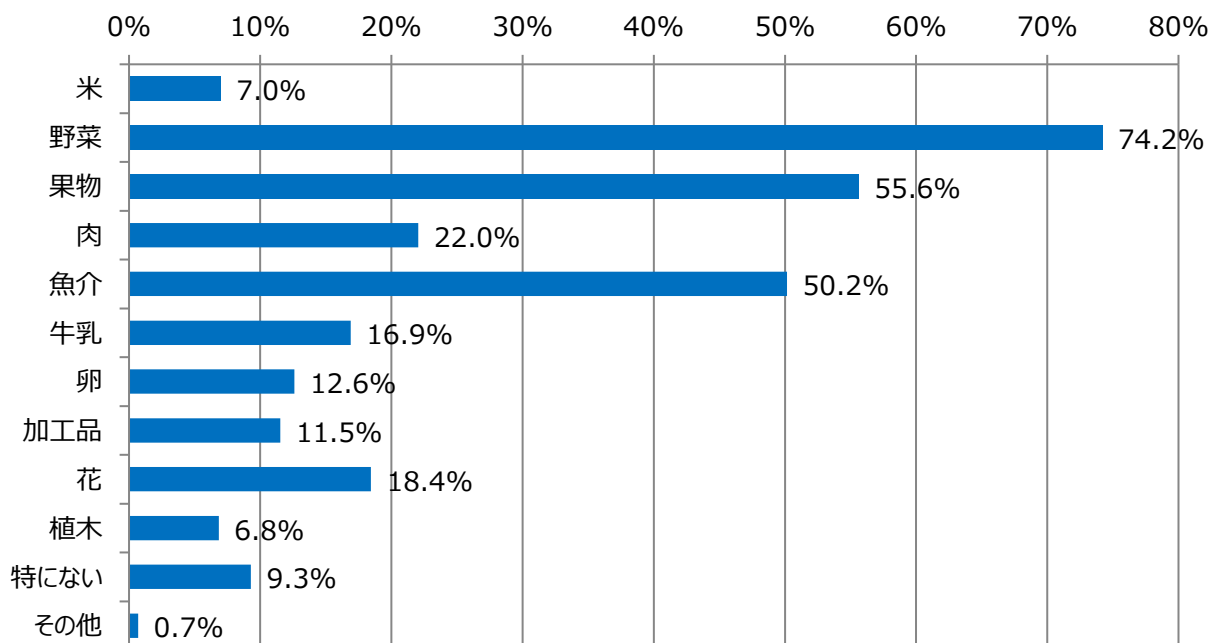
- ・菊芋 ・小松菜 ・大根 ・カボチャ ・イチゴ ・白菜 ・里芋 ・ナス ・カブ
- ・ブロッコリー ・サツマイモ ・小麦 ・ワカメ ・サザエ ・カマス ・ブルーベリー
- ・ミカン ・レモン ・湘南ゴールド

(17) 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。



n = 1,262

(18) 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

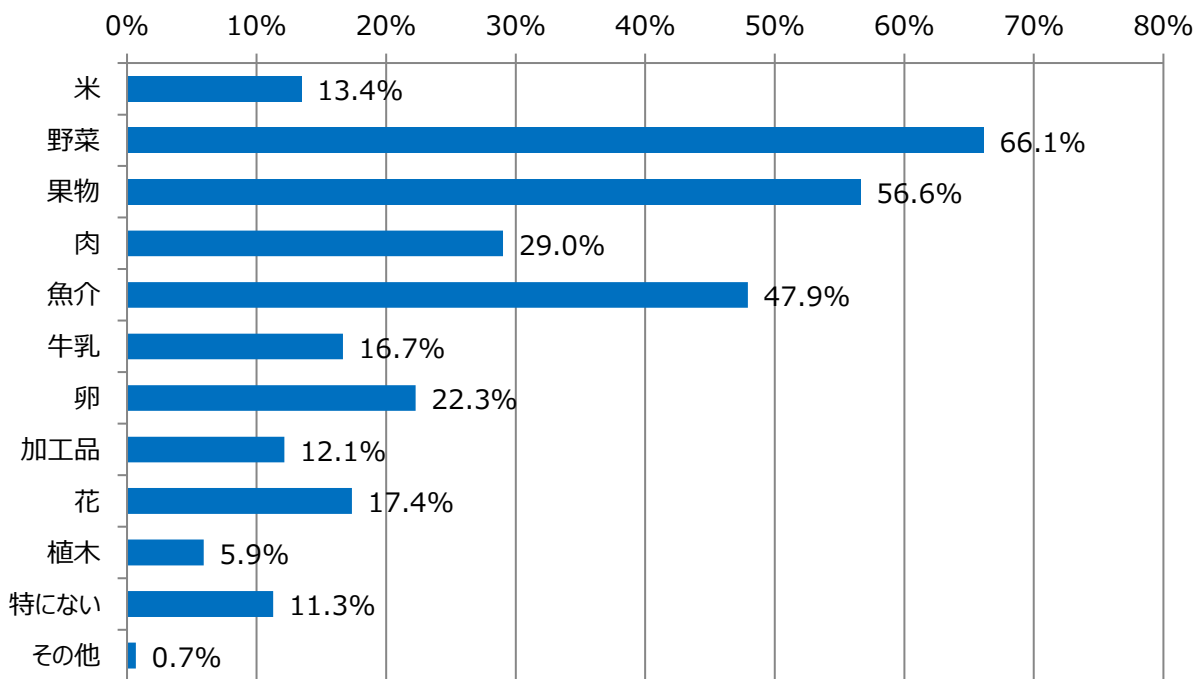


k = 1,261 n = 3,714

※主なその他の回答

・日本酒

**(19) 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)**

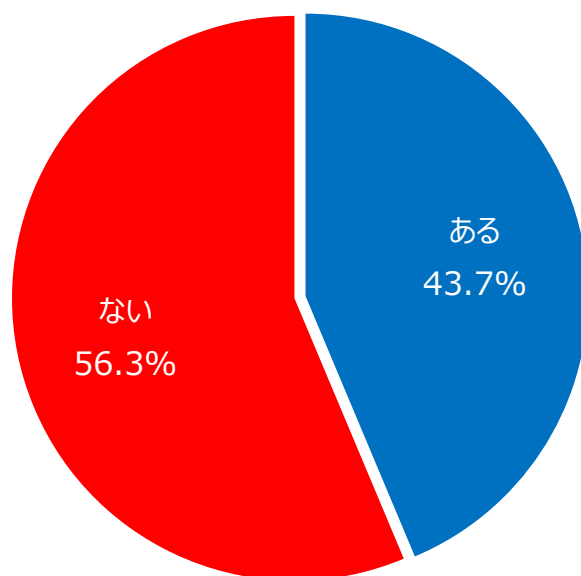


n = 1,253 k = 3,899

※主なその他の回答

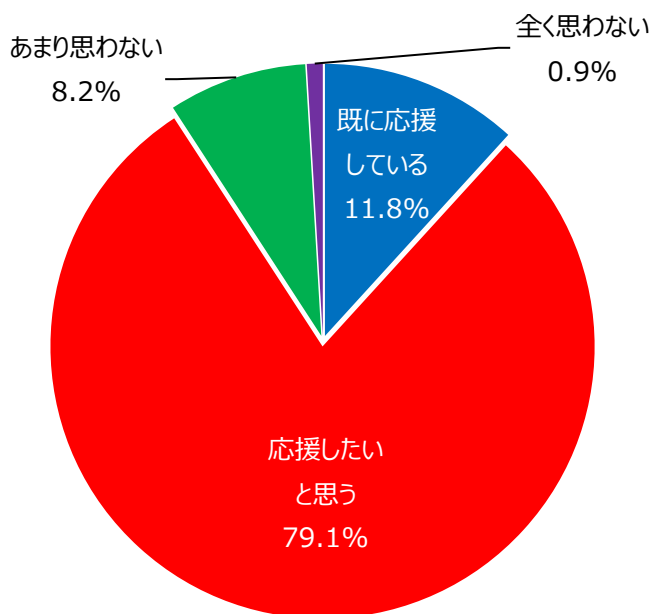
・日本酒 ・無農薬、減農薬とわかるもの

**(20) 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。**



n = 1,264

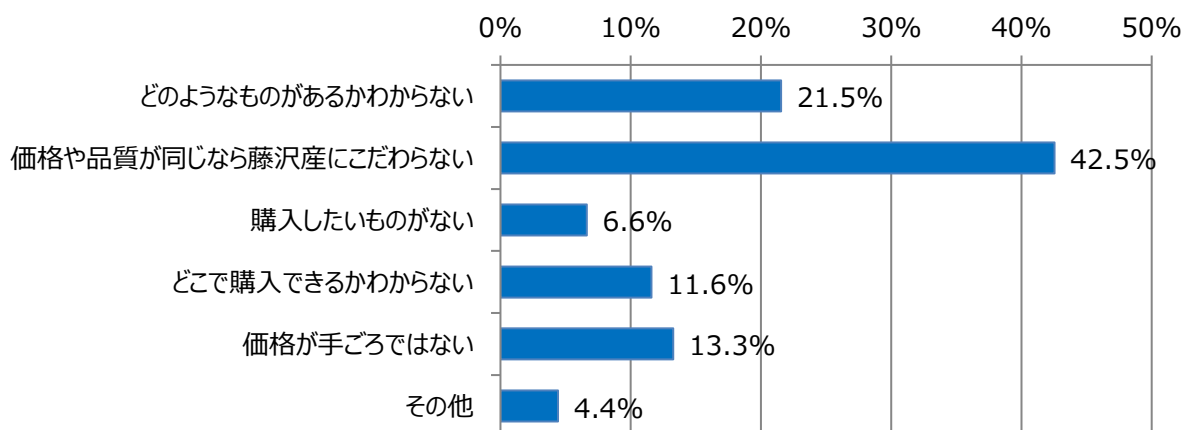
(21) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いませんか。



n = 1,275

(22) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思わない理由はどのようなことですか。

( (21) で「あまり思わない」、「全く思わない」と回答した方 ) (複数回答可)

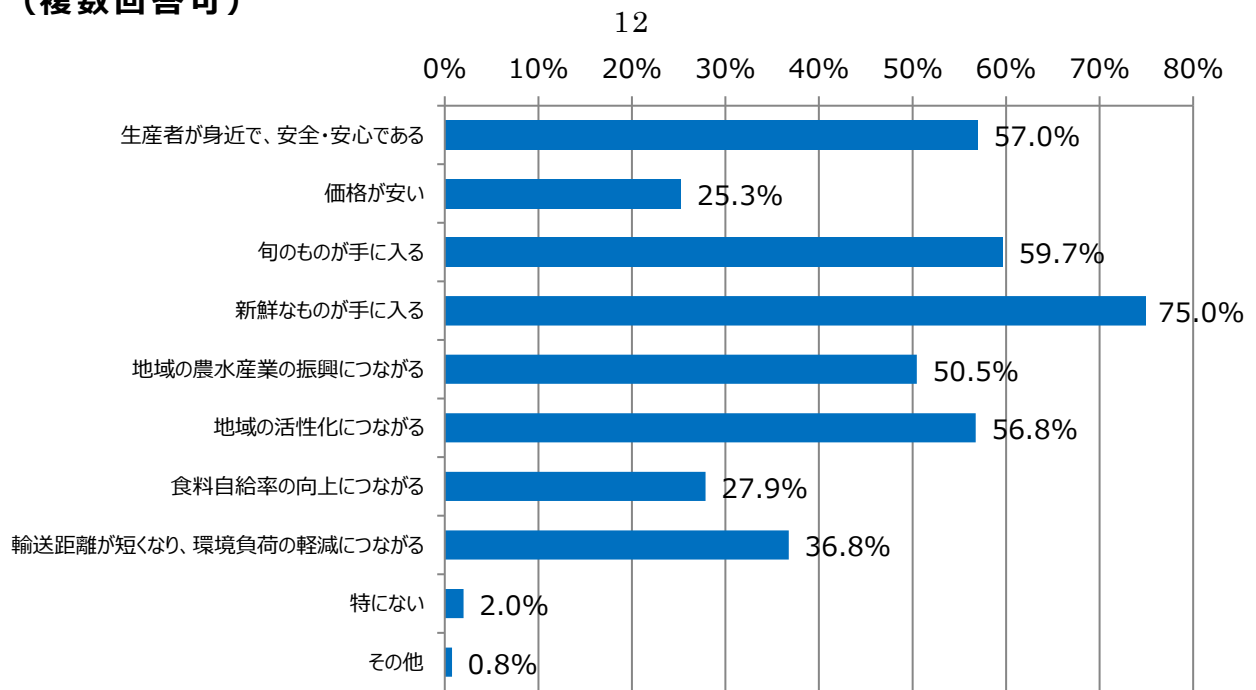


n = 104 k = 181

※主なその他の回答

- ・いつも利用する店で販売していない。
- ・地産地消を応援するのではなく納得するもの（品質や価値、味等）を買っている。応援するのは制度ではなく農家さんや漁師さん作ったり獲ったりしてくれる人こそ応援したい。

**(23) 「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や感じるものを選んでください。  
(複数回答可)**

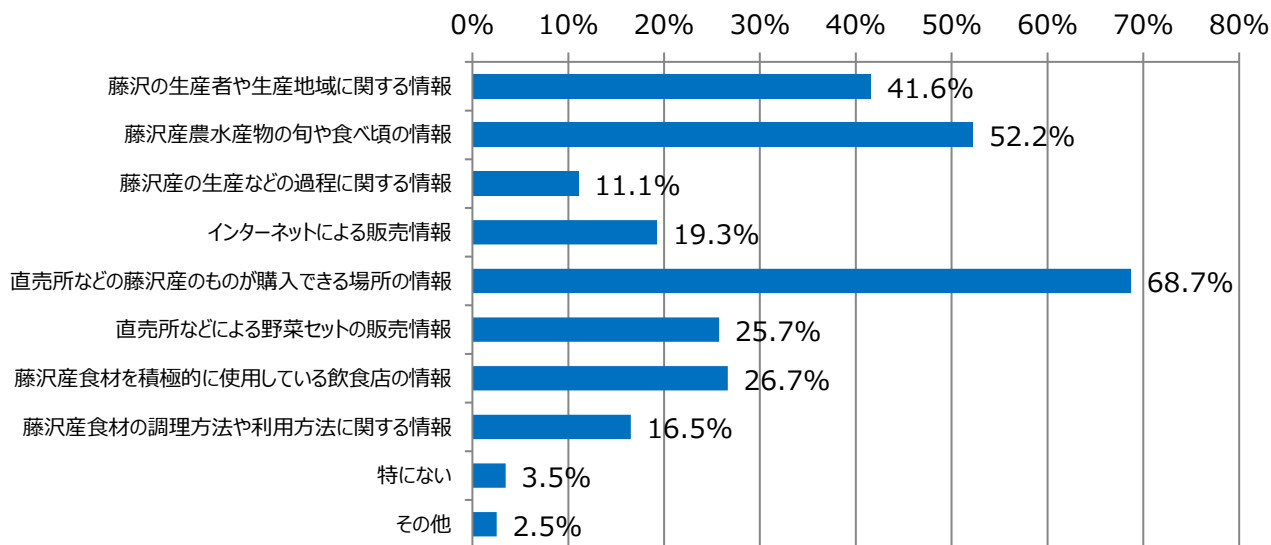


n = 1,247 k = 5,098

※主なその他の回答

- ・‘ふるさと納税’的な「わが街」と大事にする効果が期待されると思う。
- ・地域への理解が深まり愛着がわく。
- ・生産者の働く意欲が高まるより良い品を作り出そうと工夫される。
- ・子供がふるさとの味を忘れない。

**(24) どのような情報があれば、あなたは「地産地消」に取り組みやすくなると思いますか。(複数回答可)**

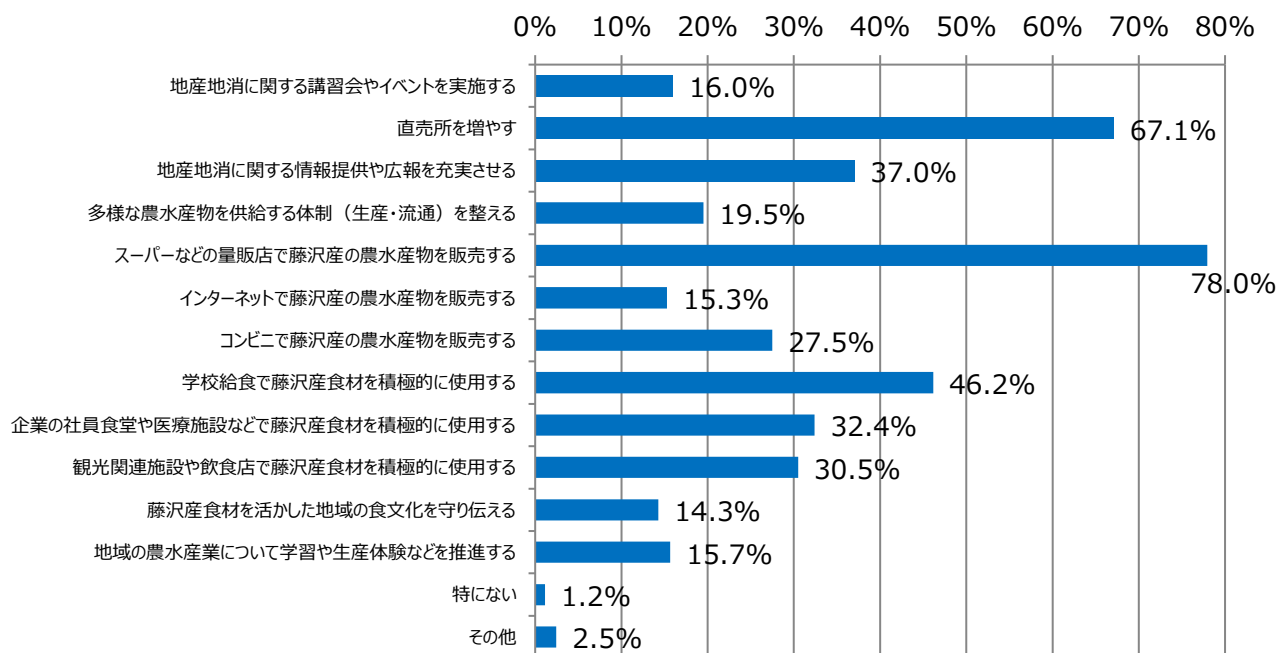


n = 1,246 k = 3,487

※主なその他の回答

- ・スーパー等での表示。
- ・直売所の増設。
- ・SNSでの発信。(同様の回答複数あり)
- ・情報だけでなく、具体的な取り組みが必要。販売活動・調理活動など直接的な行動が必要。
- ・生産者がオススメレシピを公開してもらえると消費者は買いやすいと思う。
- ・パッケージに記載してほしい。(同様の回答複数あり)
- ・駅の商業施設内に常設店が。
- ・新鮮なことのアピールしてほしい。
- ・スーパーでもよく藤沢産を見かけるが、地産地消コーナーはなんとなく高い気がするエリアに感じてしまっているので、通常の売り場に藤沢産をちりばめて陳列してもらえると手を伸ばしやすい。(ほかのものと比較できる)
- ・店先に看板が欲しい。
- ・放射能汚染状況の調査ができていること。

(25) 「地産地消」をより進めるためにあなたが効果的だと思う取組を次の中から選んでください。(複数回答可)



n = 1,253 k = 5,247

※主なその他の回答

- ・子供の学校ではかなり積極的に使用され、それを便りで伝えていた。保護者も安心感があり、子供にも藤沢のものを食べている意識が生まれ良い食育だった。
- ・地図（市内新聞）で広告する。
- ・調理や試食。
- ・学校の教育に地産地消の大切さを説くカリキュラムを組み込む。
- ・市のHPでの特産品紹介の拡充。
- ・ごみ分別アプリ等、人目につきやすい市のアプリ、HPでの1口コラム等。
- ・市役所前販売日を増やす。
- ・食べ放題のお店でテイクアウトもできるとか。
- ・各農家で味が違うことがわかってそこに通っている。それぞれの特徴をアピールすること！に尽きるのではないかな。
- ・藤沢のこういった場所、畑で作られているのかをもう少し知れる機会があればいいと思う。
- ・神奈川ペイを利用した、ポイントサービスなどがあると住民の関心があると思う。
- ・直売所から各市民センターへ出向いて地産地消販売会を定期的で開催する。
- ・キャラクターを用いたマーケティング
- ・企業などの昼休憩の時に直売会などを開きアピールする。
- ・配布したりイベントで食べて知ってもらうのがよい。
- ・農業体験等がどんな年の方でも身近にできるようになったら活性化できそう。



**(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。**

### **【1 藤沢ブランドの創出】**

#### **(1) 一次製品の創出**

- ・農業も漁業も高齢化が進んでいるので特産品を作るなど儲かる農業や漁業にして、若い人が参入できるようにしないといけない。
- ・藤沢市は何が特産物なのか知らない。

#### **(2) 加工品等の開発**

- ・他県に実家があり、帰省する際お菓子以外のおみやげを持っていきたいが思いつかずいつも崎陽軒のシウマイになってしまう。魚貝類そのものだと近隣の県でも豊富にあるので独自の加工物があつたらいいなと思う。
- ・レストランとのメニュー開発→ご当地グルメ。

#### **(3) その他**

- ・鎌倉野菜は有名なネーミング。藤沢野菜ももっと有名になり耳になじむようなネーミングになるとよい。
- ・農産物のブランド化の促進、サポート体制の充実を期待したい。
- ・ブランド化などで意味のない付加価値をつけるよりも、生産者の近くにいる誰もが手軽に手に取り消費できる仕組みを作る必要があると思う。

### **【2 給食供給強化】**

#### **(1) 給食における藤沢産農水産物の利用促進**

- ・子供たちの学校給食には地元の農水産物を取り入れてもらいたい。今、物価も上がっていてやりくりが大変。まともに食事をとれないで給食に頼っている子供たちもいる。今藤沢の学校給食は小学校までだが、せめて中学校まで無料で給食を提供してもいいのではないか。ほかの自治体からみてもこの点は遅れているような気がする。やはりこれからの子供たちに優しい町であってほしい。
- ・小学校の給食では地元の食材を使ったり、食育として地産地消についても学べるようだが、それより上の中学、高校でも地元の食材を使ったお弁当を売ったり、くだもの売ったりできるとよいのではないか。

#### **(2) 学校教育での食育**

- ・藤沢市立の小・中学校に通っている際、「地産地消」について学んだ。体験学習や地元の農家を訪ねて、話を聞く機会があり、印象に残っている。小・中学生の時期に地域に触れる経験はたくさんあるといいと思った。

・子供の小学校では、給食だよりで藤沢産の食材を使用したらわかりやすく書いてくれていた。安心安全で地域の為になる素晴らしい取り組みと思った。

### 【3 普及啓発】

#### （1） イベント・講座の開催

- ・農家から農業を教えてもらったり、ボランティア体験がいろんな所でたくさんかんたんにできたりしたら参加したい。
  - ・地産地消での料理教室や試食会、体験会など、手にとる機会を増やすといいと思う。特に主婦の人たち（ママ友など）の口コミは1番効果があると思うので、ターゲットをしぼってSNSにタグつけてもらえるようなイベントをするなどがいいと思う。
  - ・市役所でやっている市場みたいなイベントの回数や、時間帯などをもっと増やして欲しい。
- また、市役所の裏側、(朝日町駐車場)のほうでもやって欲しい。
- ・お祭りなどの屋台にも出店してほしい。
  - ・駅でマルシェをやっているのはいいと思う。湘南モールやテラスモールでもやってほしい。やっているかもしれないが情報がない。
  - ・私は農家の娘で実家の畑の仕事をしている。生産者としてはもっとイベントなどでたくさんの方に藤沢市の野菜を知ってもらいたい。きっかけなどあるといい。地産地消もまだごく一部の人達（日頃JA直売所を利用している方など）しか知らないのかな？とも思う。

#### （2） 藤沢産農水産物の表示

- ・県内の農水産物は目にする機会が多いが、藤沢産と明記してある物は少ない気がする。
- ・スーパー等で買ったことはあるがロゴマークの印象がうすく記憶に残っていないように思う。
- ・藤沢産ふじキュンシール、POPなど直売所やスーパーで使ってもらおう。スーパーの生産者さんの大きな顔写真は効果があるのではと思う。コーナーが作ってあるところはわかりやすく選びやすいと思う。
- ・いろいろなサイズのシールを作成し、食、衣、工芸に配布し藤沢産をアピールする。
- ・地産地消のアピールするPOPや広告をもっと大きく出したほうがいいと思う。ポスターやシールもあわい色ではなく、目につくような色にするなど。

#### （3） 量販店での販売促進

- ・積極的に購入したいとは思っても、身近な場所に売っていないので買える機会は少ないと思う。スーパーやコンビニなどで買えるとよい。
- ・たまにスーパー等で地産地消の野菜など見かけると買うが、量が少なく、買いたいものがないことが多い。スーパー等の事情もあるだろうが、量を増やしてほしい。

- ・鎌倉野菜はよく聞かすが、藤沢産としてはあまりスーパーで見かけない。自分がそういうスーパーに行っていないだけかもしれないがもっとアピールしたほうが良いと思う。
- ・調理方法やレシピが数多く置いてあると購入したくなる。
- ・生産者をはじめ直に消費者の声を拾える場、スーパーでの地産コーナー、メニュー、作り方、試食時には原価ほどの提供をすることでおいしい安全をアピールする必要がある。
- ・スーパーなどに藤沢産のコーナーがあるときは見ている。できるだけそのコーナーから買っている。入口にあると見やすく良いと思う。
- ・スーパーなどで顔写真入りの野菜などを買うことがある。生産者の方が棚に並べているのを見ると、頑張って育ててくれた野菜を買おうと思う。スーパー、コンビニ等と連携して、地元の特産品を販売促進し、地産地消をアピールできると良いと思う。

#### **（４） 購入場所、機会の拡充**

- ・手に入る場所が増えれば自然と手にする回数は増えると思う。
- ・直売所などが近くにあれば利用したい。イベントがないとなかなか購入する機会がない。
- ・年寄りなので遠くまで買物に行けない。近い所で直売所があったらと思う。
- ・藤沢市にも道の駅のような広い販売場があったら買いに行きやすい。
- ・地産地消品を購入したいが、直売所は行けない場所で購入できない。スーパー内や市役所前、駅前コンコース（広場）などで販売を充実して頂けたら嬉しい。
- ・藤沢のタイトルでネット販売する。
- ・より新鮮な品物を購入できる店舗がたくさんあれば便利だと思う。営業時間も仕事帰りにはだいたい JA 系の直売所は閉店で不便。買いたいと思っても、平日に夕方すぎても買えない。日曜日となると大混雑していて、平日働いている人には、気が引けてしまう。

### **【４ 付加価値向上】**

#### **（１） 安全・安心**

- ・個人的には価格よりも無農薬・減農薬・オーガニックだと少し高くても買いたい。
- ・農産物の農薬の使用状況がわからないので見える化して欲しい。
- ・米、野菜、果物の低農薬、無農薬の推進と新鮮な魚貝類の提供、販売をお願いしたい。
- ・藤沢の地元で生産される物は輸送コスト等軽減される為、より安価を追求し、地元でより多くの消費を促進させる様自治体と生産者がより連携をとり地元消費者への購買促進をお願いしたい。消費者はより新鮮・安価・安全性を常に求めている。
- ・形の悪い悪いではなく、安全かどうか、が一番気になる。

## **(2) 新鮮な農水産物の提供**

- ・新鮮で安い農水産物がもっと手軽に購入できるようシステム構築を推進してほしい。
- ・野菜も高値が続いているため購入を控えているが新鮮な地元のものが手に入るなら、優先的に購入したい。

## **【5 農水産業の維持・発展】**

- ・休耕地の活用。
- ・今ある農地をむやみにつぶさず、守り農業を続けられるようにしてほしい。祖先の方々が苦勞して畑にした農地を大切にしてほしい。畑がなくなってしまっは「地産地消」もできない。
- ・地域の生産者が負担なく生産していける方向に行政がフォローしていければ、もっともっと多くの藤沢産、国産のものが増え、安心安全につながっていくと思う。消費者は工夫して少しでも良いものを安心なものを選んでいけると思う。
- ・気象変動リスクに思う。藤沢産農水産物対応を、活動を10年、30年先を考えてしっかりやってほしい。

## **【6 情報発信】**

### **(1) SNS**

- ・SNS 発信など若い世代に広がるアプローチでもっと身近に藤沢産を感じられるとうれしい。
- ・YouTube に動画があるとアピールになると思う。
- ・「地産地消」をアピールする動画配信があればいいなと思う。

### **(2) 広報ふじさわ**

- ・市報をもっと活用、回数を増やす。

### **(3) 市 HP**

- ・今回のアンケートをきっかけに市の HP から特産品や農産物のページを見てみたが、特産品の紹介がなかったり、そのページにたどり着くのも難しかったりといった買う人視点の情報が得にくいのも少し残念だった。

### **(3) 求められている情報**

- ・藤沢産の野菜などが食べたいが、どこで手に入るかわからない。もっとアピールしてほしい。
- ・無人販売の情報なども知りたい。
- ・藤沢産の食材を使っている飲食店など案内いただけるとよい。
- ・藤沢の特産品を周知してほしい。

- ・野菜や果物以外の藤沢産の食べ物は何があるのか情報がもっとあると良い。
- ・地元産食材を使ったレシピ動画等観てみたい。
- ・外国人に対して「地産地消」の情報について外国語で広報してほしい。
- ・地産地消であることと同時にできるだけ農薬や添加物を使わないものを求めている。そこへの取り組みの表示や読み物などがあると嬉しい。

#### **(4) その他**

- ・インターネットや SNS に頼りがちであるがこれらを苦手とする世代を動かすことがポイント。
- ・マスコミなどプレスリリースを積極的に行う。
- ・情報誌、ラジオ等で生産者さんの声をもっと聞かせてほしい。
- ・まだまだアピールが足りないかを感じる。消費者としては積極的に購入したいと思っている。
- ・藤沢産の情報へのリンクをゴミ出しの HP とか様々なところに置いてほしい。
- ・地産地消についての市民啓発が足りないと思う。行政サイドでの取り組みを期待している。

### **【7 購買欲促進】**

#### **(1) 農水産物の価格**

- ・地元のものだから、地元の人が手に取り、購入する時代ではない。物価が上がりすぎて1円でも安いものを買う毎日。
- ・売場の野菜や魚より藤沢産の方が高い。もう少し料金設定を見直してもらえれば、もっと積極的に購入しようと思う。美味しそうで食べたいなあとは思うけど高くてあきらめてしまうことがほとんど。
- ・地産がブランド化されてない限り、物流コストを抑えた事による価格のメリットがなければ消費者は敢えて買わないと思う。地産品目の周知及び価格面でのメリットの付与が必要だと思う。
- ・藤沢産の物が他府県産よりも安いことが比較できれば、喜んで購入したい。

#### **(2) 規格外農水産物の販売**

- ・飲食店向けに商品化しやすい価格帯で、破棄されてしまうような野菜 B 級品を仕入れられるような取り組みを、商工会等が生産者と飲食店事業者を繋いでもらえると嬉しい。
- ・色や形など規格が厳しいせいで、食品ロスが増えてしまっているのではないかと思う。食べればおいしいことに変わりはないので、もっとたくさん消費できるように規格の見直しが必要だと思う。→難しければ規格外の野菜などを手軽に買える場所が増えてほしい。

### (3) その他

- ・藤沢産の購入者に特典を付ければより買う人が増えるのではないかな。
- ・正直、藤沢市の食材の何が強みなのか理解できていない。他には、藤沢市内で取れた食材を購入したらポイントがついたりしたら、自然と手が伸びるのではないかな。お得感が出て自分だったら買う。

### 【8 その他】

- ・地産地消をすすめるならば、消費者がわかりやすくメリットに感じるものがあると良いと思う。地元のものだから「安心」、「新鮮」とか、高いけど「無農薬」とか。スーパーで無農薬野菜はほぼないから、そういうところで売り出すと、子育て世代等購入するのではないかなと思う。
- ・藤沢市の地産地消推進計画を効率よく進めるにはまず藤沢産の野菜の存在を幅広い年代の人に認知してもらおうと藤沢産の農水産物が地域で根付いて行くと思う。
- ・藤沢産、という事だが行政区分によって分けるのも視野が狭い。茅ヶ崎市や鎌倉市は隣だし、「地元」というなら得意分野地産地消でもっと協力したらどうか。
- ・地産地消を推進することは大切なこと。今、日本は輸入にほとんど頼っている。これからの特に農業がどうなっていくか心配。なにせ日本は色々な面で後退しているように感じる。
- ・新規就農者も少しずつ増えてきているので藤沢市の農業が活性化するように応援したい。
- ・地産地消としては国産（日本産）には気にしていた。地域としては考えなかった。今後は地域のものについても気にしていきたい。
- ・「地産地消」に大賛成。生産者と近く、顔のみえる安心感があるし、環境への負荷がかからず、良いことばかりのような気がする。
- ・サラダや鍋物に向きそうな野菜セットの販売があったらうれしい。

**令和 5 年度  
地産地消に関するアンケート結果**

**令和 6 年 3 月**

**藤沢市経済部農業水産課**

〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1

TEL 0466-25-1111 (内線 3431)

FAX 0466-50-8256

Email [fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp)